

平成23年3月31日

平成22年度八王子市市民活動支援センター

事業報告

八王子市市民活動支援センター

センター長 春田 博

1、はじめに

- ・ 八王子市市民活動協議会が八王子市市民活動支援センターの指定管理者として、引き続き管理運営する手続きのため、これまでの指定管理期間である5年間の実績報告書(平成18年4月1日～平成23年3月31日まで)及び10年間の事業計画案(平成23年4月1日～平成33年3月31日まで)を策定し八王子市役所へ提出しました。
- ・ 東日本大震災対策として市の指示を得て、平成23年3月15日(火)～4月30日(土)まで、夜間における会議室(17:00～21:00)利用中止の取り扱いや義援金募集の募金箱を設置し、節電協力、義援金募集に積極的に取り組みました。

2、支援センター月例会議の開催

毎月1回、月初めにセンタースタッフが一同に会した月例会を開催しています。

会議内容は報告事項として、前月の各部会活動報告並びに予算執行状況の報告。

議題としては時々の取り組み課題の検討審議や勉強会を開催し、諸問題の共有化と情報交換を行いました。

3、企画運営会議の開催

四半期毎に1回開催しています。運営会議の構成は八王子市市民活動協議会の3役並びに支援センター長です。テーマ内容によっては、支援センター担当部長も参加します。

会議内容は、支援センター四半期毎の活動報告並びに業務運営に関する協議や意見交換等を行い、相互の連携協力を図りました。

評価と課題

理事会等で日常的報告は行っているが、四半期毎に行う企画運営会議は両者の関係強化のためにも必要であり、長期的課題等を中心に討議していきます。

4、個人情報セキュリティ委員会の開催

- ・ 平成22年4月27日、個人情報保護管理規程に基づき、平成21年度の監査が監査責任者春本高夫氏により行われました。

平成22年4月30日付けで、監査報告書を受理致しました。

監査結果では、個人情報の取扱い、管理状況は適切に行われており良好であり、前年度課題とされた個人情報管理マニュアルも作成、整備されたことは評価に値するとの診断をいただきました。

① 第1回「セキュリティ委員会」は6月4日に開催しました。

新年度委員会組織図並びに役割分担を確認して、平成21年度「監査報告書」の内容と指摘事項の対策を協議しました。

問題点として指摘された管理マニュアルは、各担当部署が原案を作成し早期に成文化する。

データ管理の管理教育は総務部門で対策を講じました。

苦情処理対応策として八王子商工会議所発行の「顧客満足度とクレーム対応」冊子を参考にセンター用に新たに作成しました。

② 第2回「セキュリティ委員会」は12月8日に開催しました。

懸案であった支援センター「個人情報セキュリティ管理マニュアル」や「研修マニュアル」をスタッフの協力で原案を作成、当委員会で検討し一部修正、追加して制定しました。

マニュアルの主な内容は個人情報管理者、教育責任者、データ管理者、教育マニュアル、苦情相談管理者等の13タイトルで構成しました。

評価と課題

インターネット上でのデータの取扱いが増加しており、漏えい事故対策として情報の取扱いについて一層注意するよう教育致します。

5、八王子市環境マネジメント制度の取り組み

平成22年度の環境監査（市職員、市民委員の2名）が平成23年1月20日、支援センターで実施され聞き取り調査と現場チェックが行われました。

現場監査として、施設内節電、会議室の適正温度設定（冬季、夏季）、給湯室設置ごみの分別回収状況や使用済み用紙類の資源再生利用状況を確認し、適正に管理処理されているとの講評を頂きました。

評価と課題

監査結果は、特に指摘事項はありませんでしたが、年1回の教育研修として、3月4日、八王子市発行の「環境基本計画」概要版を教材にして、勉強会を行い市環境政策の取組みについて理解しました。

6、「指定管理者制度」のモニタリングの実施結果と評価

平成22年8月4日付けで八王子市協働推進課より、平成21年度の支援センターの管理運営に係わるモニタリングの実施結果について書面で通知がありました。

総合評価は“A”評価で、3年連続の評価実績になりました。

評価概要は21年度は新規事業も含め事業計画どおり事業を実施したほか、経費節減の上、備品の充実や相談対応のさらなる質的向上のため、専門団体と委託契約を結ぶなど、利用者サービスの質を高めました。

また、新規事業である市民活動支援講座の実施等により、市民活動団体間のコーディネートを図り中間支援施設として機能の充実を図ってきました。

今後は、ゆめおりファンドの運用などを通じて、市民活動団体の更なる基盤強化を期待したい。

評価と課題

モニタリングの評価を受け、支援センタースタッフ一同は、改善指摘事項の共有化を図ると共に今後の諸施策や日常の業務に活かしていきます。

7、調査研究活動

調査研究活動として、「平成22年度市民満足度調査報告」、「平成22年度施設、会議室利用状況報告」、「平成22年度啓発部会アンケート調査報告」を作成し公表しました。

「市民活動満足度調査報告」は平成23年1月5日～1月30日までに実施しました。

調査回答数は200件、調査結果は市民や市民活動団体から高い評価と支持を頂きました。

「市民活動通信」第42号やホームページでも公表いたしました。

評価と課題

センターに寄せられた意見や、要望事項は、今後の業務運営に反映し、市民や市民活動団体の期待に応えていきます。

*別紙参照：「平成22年度市民満足度調査報告」、「平成22年度施設、会議室利用状況報告」

「平成22年度啓発部会アンケート調査報告」

8、施設利用状況（件数）

会議室	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	電話相談	電話他	活性化室	メール相談	メール他
895	560	305	150	771	105	3,233	539	40	4,565

*別紙参照 「平成22年度施設・会議室利用状況報告」

評価と課題

認知度の高まりとともに施設利用者は年々増加しています。特にメールでの情報交換がふえています。

今年も韓国政府系調査団8名、総務省人材活性化・連携交流室3名、石川県羽咋市、北海道芽室町職員等の行政視察調査がありました。

支援センタースタッフの一層の対応能力の向上が求められます。

9、総務、相談部会の活動

・4月度 4月2日、八王子市民活動協議会より、「ゆめおりフアンド」事業の引継ぎ書を受理しました。

・4月16日、「市民活動立川センター」を視察見学で訪問しました。

施設内見学、業務内容、運営スタッフ体制、行政との連携、外部評価制度等について調査し意見交換を致しました。

公設民営の当センターの取り組みには大変注目しているとの事でした。

・4月30日、「平成21年度支援センター活動報告書」を協働推進課に提出しました。

5月度

・5月7日付け 人事異動 新規採用 小濱雅子

・5月15日、八王子市民活動協議会の定期総会の出席、総会席上、支援センタースタッフ（男性6名）全員が理事（任期2年）に就任しました。

6月度

・6月1日～8月30日まで八王子市の指示で「クールビーズ週間」（夏季軽装勤務）の実施と店内掲示をして利用者の協力をお願い致しました。

・6月15日、「小平市民活動支援センター」（公設民営）、視察見学で訪問

平成22年4月、公設民営で開設、廃校校舎を市の複合コミュニティ施設として利用されています。

2階の一部を使用し事務室、交流スペース、印刷作業室、会議室等、当支援センターの3倍程度の面積を有する。 設立段階で管理運営や諸規定整備に大変お世話になった旨のお礼の挨拶（理事長、

事務局長他)がありました。

- ・ 6月23日、リコーテクノシステム(株)との間に施設内ネットワーク保守契約を締結しました。
- ・ 6月25日、平成21年度「八王子市民活動支援センター事業報告」の概要版冊子を作成し、対外的広報資料として活用しました。

7月度

- ・ 7月6日～8日、「八王子市立櫛田中学校生徒4名」(男女各2名)が当支援センターで職場体験実習を実施致しました。後日、参加生徒4名から感想とお礼の礼状が届きました。
- ・ 7月15日、は八王子生涯学習コーディネーターのメンバー12名が来訪し、支援センタースタッフとの交流研修会を実施しました。今後の連携協力を約し、「お父さんお帰りなさいパーティー」実行委員会や啓発部会の委員として協力を頂いています。

8月度

- ・ 8月7日、施設内PC配線保守整備工事を実施しました。
- ・ 8月13日、市の依頼で「杏林大学生のインタナシッブ」を受け入れました。
- ・ 8月16日、次期指定管理者資格申請資料として、支援センターの事業実績報告書(平成18年度から5年間)の作成に協力し石井理事長名義で市に提出しました。
- ・ 9月10日、ファルマ802ビル5階フロアで(社)八王子観光協会との共同消防訓練(消火器の扱い、非常階段の使用等)を実施しました。
- ・ 9月16日、「団塊世代等地域参加支援に関する情報交換会」に出席しました。
- ・ 9月23日、東京消防庁による立ち入り検査があり、検査結果は異常なしとの通知(フロア責任者、八王子観光協会宛)がありました。

10月度

- ・ 10月15日、大星ビル管理会社の指導で、近隣ビルとの合同消防訓練に参加(ビル火災、地震避難訓練、火災消火器使用訓練等)しました。
- ・ 11月度
11月1日付けで八王子市から「地球温暖化の防止及び冬季の省エネルギー」についての通達があり、支援センター独自の案内を施設内に掲示し、利用者の協力をお願い致しました。
- ・ 11月24日～26日、八王子市立浅川中学校2年生4名(男女各2名)、職場体験実習を実施しました。後日、参加生徒より感想とお礼の礼状が届きました。

12月度

- ・ 12月22日、八王子市民活動協議会の研修旅行で、研修テーマ「東京都内の中間支援組織について」と題して、春田センターから報告があり、参加者で意見交換を致しました。
- ・ 12月22日、和歌山大学大学院生の卒業論文テーマ「中間支援組織について」の調査訪問(和歌山市NPOセンター長の推薦)に協力いたしました。

1月度

- ・ 1月7日、八王子市の通達で「インフルエンザ対策」のリフレットを施設内に掲示致しました。
- ・ 1月21日、読売新聞社八王子支局長が「第1回NPO八王子会議」についての取材があり、1月30日付け、多摩版のトップ欄に大きく案内記事として掲載されました。
～NPOの運営、知恵結集、来月、八王子で初会議～

- ・ 1月30日、平成22年度「市民満足度調査アンケート」を実施し目標の200件の回収作業を終えました。

2月度

- ・ 2月6日、市環境保全課からの要請で「市禁煙マナーアップキャンペーン」（北口駅前広場）に参加しました。
- ・ 2月18日、市経営管理室から指定管理者導入施設の安全管理対策の徹底通達があり、再度、施設内の安全管理や監視体制を確認し徹底しました。

3月度

○ 3月11日に発生した、東日本大震災対策に取り組みました。

- ・ 3月14日、市よりセンター施設の夜間会議室（17：00～21：00）の利用中止（3月15日～3月27日）の連絡があり、夜間利用申し込み団体に利用中止の事情を説明し了解を得ました。
- ・ 3月15日、当施設内に被災地の被災者に対するお見舞いと、当分間、夜間利用中止の案内掲示とホームページでの知らせの案内を致しました。
- ・ 3月16日、市からの連絡でボランティア情報受付簿の用意、八王子市長名の義援金募集協力のポスターを掲示し、募金箱を設置しました。早速く、支援センタースタッフ、協議会理事の皆さんから義援金の協力を頂きました。
- ・ 3月23日、市から引き続き夜間利用中止期間を4月30日まで延長する、5月以降は4月中旬に決定するとの連絡がありました。
当日、施設内に新たに案内の掲示とホームページで知らせの案内を掲載しました。
また、地震に関する支援情報（役に立ちそうなサイトの紹介）を提供致しました。
- ・ 3月16日、街頭募金マニュアルを回覧し、窓口相談対応に対処しました。
- ・ 3月31日、平成23年度事業計画、収支予算、実施事業の内容及び計画、支援センター人員体制等の書類を市に提出しました。

○ 行政の視察調査、見学

- ・ 5月27日、北海道十勝、芽室役場の職員、企画財政課長他1名、町長の指示で日野自動車への出張の帰路、視察見学で来訪。
市民協働のまち八王子市政、公設民営組織の管理運営、町会自治会とNPOとの連携、対応や今後の課題等について説明し、意見の交換を致しました。
用意した諸資料は貴重な土産になると感謝されました。
- ・ 9月30日、政府系「韓国老人人力開発院」（団長ソウル大学教授、調査研究員、民間企業、朝鮮日報記者随行）の調査団8名が視察調査で来訪しました。
調査目的は、団塊世代の大量退職を経験した日本の対応策と現状や現地事例を調査し、韓国での対応策を模索する。
調査訪問先は国、東京都、地方都市（先進的取り組み八王子市）
来訪にあたり事前に質問状が届き、八王子市の現状と対策は市健康福祉部高齢者支援課、市民活動推進部協働推進課、市民活動の現状と取り組みは石井八王子市民活動協議会理事長、春田支援センター長がそれぞれ説明して、質疑応答致しました。

活動現場の見学として「サバーシルクロード八王子」に案内し、甲谷勝人会長に会の活動内容を説明頂きました。

八王子市の市民協働の実績と市民力、用意した膨大な参考資料は貴重な調査資料になり感謝したいとの謝意がありました。

その後、調査団の報告会に講師派遣の依頼がありましたが、日程の調整がつかず辞退致しました。

- ・ 11月23日、石川県羽咋市役所から市職員、市議会議員、町会自治会役員、市民活動団体役員、合計8名がマイクロバスを貸切して視察調査見学で来訪しました。
視察の目的は公設民営の支援センターの管理運営状況、八王子市の市民協働施策、ゆめおりファンド制度、町会自治会との連携、協議会との連携すみ分けに感心が寄せられました。
説明の後、質疑応答や意見交換など有意義な交換会になりました。
- ・ 12月17日、総務省地域力創造グループ、人材活性化・連携交流室長と調査事務官の3名、調査目的は地方自治体中間支援組織の人材育成支援策を実態調査し、行政施策に生かしたい。
事前資料として八王子市民活動協議会、支援センター各案内冊子、八王子市の市民協働施策、地域デビュー講座、オトバ冊子、地域のとびら冊子、はちおうじ志民塾等の関連資料を用意して説明いたしました。
特に八王子市民活動協議会、支援センターの事業展開そのものが、広義の人材育成支援の場に繋がっていると評価を頂きました。
その後、貴重な諸資料は今後の行政の参考に資するとのお礼の連絡がありました。

○講演会活動

- ・ 7月29日、第2回「はちおうじ志民塾」、テーマ「中間施設を利用しよう」、講師に春田センター長
- ・ 10月2日、10月23日、主催、八王子市”セカンドライフ講座“テーマ「新しい仲間、新しい自分、発見！」基調講演に植村副センター長、
- ・ 10月9日、主催：ふる里の食を拓く会、フォーラム「浅取り野菜は美味しいか」、総合司会進行に春田センター長、
- ・ 10月9日、主催：八王子ワイズメンズクラブ、テーマ「市民活動で八王子元気」、講師に春田センター長
- ・ 10月23日、主催：NPO法人小宮地域福祉センター3周年記念講話、テーマ「地域でいつまでも元気で暮らすには」講師に春田センター長
- ・ 11月10日、主催：八王子市、「市民企画事業補助金交付団体情報交換会」の講評に、植村副センター長
- ・ 11月30日、主催：八王子市、“シニア元気塾”テーマ「みんなで元気を発揮する場」講師に春田センター長
- ・ 1月22日、主催：法政大学社会企業研究会、テーマ「市民協働の先進都市“八王子”」講師に春田センター長、
- ・ 2月23日、主催：八王子学会例会、テーマ「地域学から見た八王子像と市民活動の現状と未来」講師に春田センター長
- ・ 2月26日、主催：北海道十勝、芽室町役場、テーマ「住民協働の先進都市八王子」

～住民が主役、“住民活動で” 芽室町元気” ～、講師に春田センター長

今回の講演依頼の目的は町駅前複合施設内に市民活動支援センターの設立構想とシニア世代の社会参加施策について、八王子市の事例を参考にしたい。

○スタッフ外部研修（人材育成）

- ・ 7月3日、主催：府中NPO法人ボランティアセンター、テーマ「NPO・市民活動のための、これで納得！助成金ゲットのこつ！」～フアンドレイジング活動に学ぶ～
- ・ 7月13日、主催PanasonicNPOサポートフアンド、テーマ「NPO法人のための組織基盤強化基盤強化ワークショップ」
- ・ 7月20日、主催：NPO法人会計基準協議会、テーマ「NPO法人会計基準発表イベント」と交流会
- ・ 7月23日、主催；関東ITC推進連絡会八王子フォーラム、「学び直しの時代にITCをどう利用するか」
- ・ 7月30日、主催：八王子CBネットワーク「第1回会議と交流会」
- ・ 9月4日、主催；セブンイレブン記念財団、テーマ「セブンイレブン助成セミナー」
- ・ 9月8日、主催：市民活動センターたちかわ、テーマ「NPO、市民活動団体のための広報活用術」
- ・ 9月11日、主催；日野市市民活動連絡会、テーマ「寄付文化の創生に向けて」
- ・ 10月22日、主催：東京都市町村自治調査会、テーマ「市民活動支援と新しい公共について」
- ・ 11月14日：主催NPO法人大森コラボレーション、テーマ「チラシのつくり方」
- ・ 11月22日、23日、主催；日本NPOセンター、テーマ「市民セクター全国会議2010」
- ・ 12月11日、主催、財団法人相模原市産業振興財団、テーマ「相模原コミュニティビジネスフォーラム2010」
- ・ 12月15日、主催：ワールド・カフェネット、テーマ「はじめての世界！カフェ」
- ・ 2月13日、主催：東京ボランティアセンター、テーマ「パブリックアクセス制度を知っていますか」
- ・ 2月23日、主催；NPO法人日本ウエルネット、テーマ「相談援助技術“傾聴”」
- ・ 2月26日、主催：多摩CBネットワーク、テーマ「多摩CBシンポジウム」

○支援センターフロアの拡充申請について

永年の懸案であった支援センターフロアの拡充申請書が6月22日付け八王子市民活動協議会石井理事長名で、黒須八王子市長宛てに提出されました。

提出にあたり、資料収集や現地視察等で協力いたしました。

○施設内の備品の整備

平成22年度はノートパソコン2台、手動2穴パンチ等購入しデータ管理や事務の効率化に有効活用しています。

○ 図書、資料、DVDコーナーの充実

平成22年度はSB・CBをテーマとした

- ・「社会に役立つ」を仕事にする人々 社会起業家という生き方
- ・ビジネスで社会を変える 社会起業ハンドブック
- ・コミュニティビジネスの基本

- ・NPO 便利屋マニュアル ふれあい、支えあいコミュニティビジネスのすすめ
- ・コミュニティ・カフェを作ろう！
また、団体の実践活動に即した
- ・伝えるコツ 2010→2015 NPO の広報力は、ちょっとしたコツでアップする。
- ・人が集まる！行列ができる！講座、イベントの作り方
等の購入、及び報告書等の寄贈で約 60 冊の蔵書が増え、利用者への貸出しやスタッフのレベルアップに有効活用しています。

2. 広報部の活動

○広報紙「市民活動通信」の発行

「市民活動通信」は、前年度に引き続き、毎回 5,000 部、年 6 回奇数月の 1 日に計画通りに発行しました。

発行号数	発行部数	発行日	配布先
第 36 号	5,000 部	平成 22 年 5 月 1 日	市の公共施設、駅広報スタンド、協議会会員、 広報紙掲載団体、他市中間支援センター、 八王子センター元気、八王子町会自治会連合会、 八王子老人クラブ連合会、八王子レクリエーション協会、市内 NPO 法人、各種イベント、窓口 配布用、その他
第 37 号	6,000 部	平成 22 年 7 月 1 日	
第 38 号	5,000 部	平成 22 年 9 月 1 日	
第 39 号	5,000 部	平成 22 年 11 月 1 日	
第 40 号	5,000 部	平成 23 年 1 月 1 日	
第 41 号	5,000 部	平成 23 年 3 月 1 日	

- ・広報紙の配布先については、市の公共施設や駅の広報スタンド（19 箇所）、他市中間支援センター、紙面掲載団体、協議会会員、八王子レクリエーション協会、八王子センター元気、八王子町会自治会連合会、八王子老人クラブ連合会、市内 NPO 法人、各種イベント開催時での配布などのほか、希望する町会や自治会には、必要部数（回覧方式で 4 町会 3 自治会 153 部）を配布しました。
- ・11 月に発行した第 39 号については、「恩方地区防災協議会の取り組み」を取材記事として掲載したため、別途、市（協働推進課）で増刷（中厚口の色紙で印刷）し、恩方地区町会連合会に加入する。31 町会、4,110 世帯へ全戸配布されました。

○メールマガジンの発信

- ・21 年 1 月から「八王子市市民活動支援センター便り」として、センター登録団体、中間支援団体及びイベント参加者でメールマガジン配布希望者などに、アクティブ市民塾等のイベント情報や助成金情報などを毎月発信しています。

22 年度 3 月発信時には、合計 265 件の配信数となり、メルマガの発足から比べると倍以上の配信数となっています。

[センター登録団体 (151)、配信希望者 (68)、中間支援団体 (16)、協議会理事 (19) その他 (11)]

評価と課題

- ・11 月に発行した「市民活動通信」第 39 号は、恩方地区町会連合会に加入している 31 町会、4,110 世帯に全戸配布されたため、『支援センター』及び『市民活動通信』を知ってもらえる良い PR になりました。また、毎年度、支援センター利用者を対象に行っているアンケート「市民満足度調査」の中でも読みやすいと好評（93%）を得ていますが、やや不満（7%）との意見もあることから、さらに紙面内容に工夫を行っていきます。

- ・メールマガジンの配信先は年々増加しているが、さらに配信先の拡大に努力します。

3. 啓発部の活動

- ① 「アクティブ市民塾」は従来通り月1回の計12回計画しましたが、3月度は東日本大震災が1週間前に発生したので急遽中止しました。
このため今年度は11回の実施となりました。
- ② 「市民活動入門講座」は、多くの行政・団体が同じ様な企画を行うので、昨年同様1回に減らしました。
- ③ その代わりに「市民活動支援講座」を新設して、3回実施しました。
3講座の区別は下表の通りです。

講座名	目的・内容	対象
「アクティブ市民塾」	市民団体の活動紹介	全ての市民と団体
「市民活動入門講座」	レベルアップ	同上
「市民活動支援講座」★ 21年新設	市民団体間の交流や団体会員のレベルアップ等	指定した市民団体主体

★：八王子市のほとんどの行政や中間支援団体は福祉・文化・環境・まちづくり等に限定されているので、活動範囲に限界があります。

これに対して、当支援センターは全業種を包括しています。この特徴を生かして、団体間の交流や会員のレベルアップを図っていくことを目的に「市民活動支援講座」を21年度から新設し実施しました。

各講座の参加人員は次の通りでした。

講座名	アクティブ市民塾	市民活動入門講座	市民活動支援講座	総計
実施回数	11回	1回	3回	15回
参加人員数	397名	65名	9団体 56名	518名
参考21年度	12回：444名	52名	31団体 54名	550名

○アクティブ市民塾

- ①□ 月1回原則第3土曜日に実施しました。

総参加人員数は下表のように、この3年間ほぼ同人数でした。

講座名	実施回数 /年	総参加人員数 名				
		22年度	21年度	20年度	19年度	18年度
参加人数 人	12回	397(11回)	444	441	340	313
	1回当たり	36☆	37	37	28	26

☆但し、センターの会場が狭い等のため、年間で約120名の参加をお断りしました。

評価と課題

今年は初めての参加者が75%と全体の4分の3を占めました。新しい分野の試みが成果につながりました。講座アンケート回答者209名の評価は「非常に良い」が70%、「良い」が20%と高い評

価を頂きました。来年度は10年計画の初年度であり、新たな企画で取組みます。

※別紙参照：「平成22年度啓発部アンケート調査報告書」

4. 情報部の活動

1. 支援センターホームページ関係

1. 1 システム的な改善

6月22日、支援センターのホームページに関し、協働推進課、(株)五大システム及び支援センターで打合せを持ちました。支援センターよりイベントカレンダー、ボランティア情報、助成金情報および団体情報の4項目の改善要望点を説明しましたところ、団体情報を除く3項目に関しては実施することが合意されました。団体情報に関しても協働推進課内での検討の結果実施してもよいとの結論が得られました。

その後具体的な改善内容を検討の結果次の改善を実施いたしました。

1) イベントカレンダーを目立たせる

- ① 単なるカレンダーの表示ではなく説明文を入れました。
- ② イベントカレンダーを開くボタンを各ページに置きました。

2) ボランティア情報掲載場所変更

- ① 人的資源情報をゆめおりファンドの項目から「支援情報」項目に移し、目に触れやすくしました。
- ② ボランティア情報を開くボタンを各ページに置きました。

3) 助成金情報

現在情報の表示期日が「更新日」となっているが、「締切日」としました。

4) 団体ライブラリーの改善

現在は、「ゆめおりファンド」の登録認証を受けた団体のみが掲載対象になっています。

「団体ライブラリ」は広く「市民活動団体情報」とし、支援センターで保有する団体の情報を掲載いたします。具体的な運用方法は協働推進課、五大システムと検討いたします。

1. 2 運用面の変更

1) 新着情報欄の掲載内容変更

従来は開催時期に近い「イベント情報」を掲載していましたが、毎週掲載時期を調整するため手数がかかり、カレンダーの情報ともダブっていましたので、本来のトピックスを掲載することとしました。

1. 3 ホームページ更新業務

- ①□ イベント登録件数； 327件（27.3件/月）
- ②□ 助成金情報；新着情報 68件（5.7件/月）
- ③□ ボランティア情報；更新 24件（4.0件/月）

2. パソコン・ネット関係

2. 1 改善項目

1) 支援センターLAN配線整理&図面整理実施

HUB統合/新規品に交換し、LANケーブルを整理しました。LAN配線図を見直し、現況に合わせ

ました。

2) 支援センターサーバー容量満杯懸念対応検討実施

支援センターの現行ウェブサーバーの容量が 500MB で不足が懸念されるため、協働推進課、株
五大システムを含め対応を検討しました。平成 23 年度にサーバー容量を 20GB にアップしていた
だくことになりましたが、当面の対応として、メールの容量を 5MB に制限しました。

2. 2 トラブル対応

①□ 新 PC-10 (Lenovo) ネット接続実施

②□ 町自連パソコントラブル対応 (10/8(金))

③□ 支援センターパソコンネット接続不良対応 (10/28(木))

④□ PC-12

夢おりファンドにおいて安全ネットに頒布したデスクトップパソコンが異音がするとのことで
引き上げたパソコンをチェックしました。再フォーマットし、WindowXP、Office2003 及びネ
ットドライバーを再インストールしました。

⑤□ 協議会用 PC-01 トラブル対応

プリントができなくなったので、再フォーマットし、WindowXP、Office2003 及びネットドラ
イバーを再インストールしました。

3. システム関係

3. 1 在宅勤務対応システム検討

情報部として課題となっている、在宅勤務者と支援センターを結ぶ情報手段の情報を収集しま
した。平成 23 年度も引き続き検討を進めます。

1) クラウドシステム検討

コンピュータ処理をネットワーク経由で、サービスとして利用するクラウドシステム紹介イベン
トに参加し情報を収集しました。

Microsoft 社は社会貢献事業として、NPOH プ人向けに安価な料金でサービスを提供している。
有力なシステムとして今後も検討します。

2) リモートデスクトップシステム検討/試行

手元のコンピューターからネットワークで接続された他のコンピューターの GUI を操作する技術
で、自宅から職場のパソコンに接続し、職場にいるのと同様に操作できるシステムです。

現在一部メンバーが職場のパソコンを使って試行中です。

3) VPN (Virtual Private Network) システム

在宅システムとして使えるとの情報を得たので、候補として検討します。

3. 2 業務システム検討

1) Dynamic CRM ソフト検討

Microsoft 社の NPO 向け支援者管理システムの講習会に参加し情報を得ました。

顧客情報を統合してマネジメントするシステムとして使えないか検討を進めます。

4. その他

1) 情報部会での情報提供

① 支援センターのネットワークシステムの説明をしました。

② 「Windows7&Office 2010」の便利な機能を紹介しました。

実画面をプロジェクターで紹介③ ツイッターの説明をしました。（川久保）

④ 宅ファイル便説明

メール容量制限の対応策として、大容量ファイル送付手段として「宅ファイル便」を採用し、設定説明書を作成し、スタッフに回覧しました。

評価と課題

1) ホームページのさらなる活用

① 市民活動団体情報をホームページにリンクし、検索システムを備えたデータベースとします

② 市民活動団体の一般情報、支援センターのお知らせ等も充実させます。

2) 支援センターの業務遂行システム改善

① 在宅業務遂行に適した IT 環境を検討/導入します。

② データーを統合管理するシステム検討/導入準備します。

5. ファンド部会の活動

八王子市市民活動協議会にて始動していた「ゆめおりファンド事業」も活動後 1 年が経過して、本格的な活動期に移行するため、今年度より支援センター内に「ファンド担当部」を設け専任の担当を置き、本格的な活動を開始しました。

最初の事業として、頒布会（4月16日、5月28日＝文具、パソコン類）を実施しました。

寄贈企業団体数は4団体、提供先は14市民活動団体で大変感謝されました。

そして、今年度の寄贈団体数は延べ8企業・団体、提供先団体は延べ26団体に増加し、訪問調査団体は88件、ゆめおりファンド登録団体は26件となりました。今後とも引続き各団体への周知・登録活動を推進してまいります。

評価と課題

少しずつではありますが「ゆめおりファンド」の活動も認知されつつありますが、物の提供から人・資金への営業展開、CANPAN登録の推進策、企業や市民活動団体への積極的な広報活動（普及啓蒙活動）を行います。

以 上